



「マンホール柄・風景印をデザインしてみよう」



6月1日から使用される風景印。九年庵や堀原川などが描かれている。神埼市の「仁比山郵便局」

神埼マンホール柄、風景印に

仁比山郵便局から 県内初、九年庵など題材

【神埼市】 神埼市の仁比山郵便局（宮崎明雄局長）で、神埼市のマンホールと同じデザインの風景印が誕生し、1日から押印される。県内でマンホールと風景印がコラボするのは初めて。宮崎局長は「全国的に九年庵の知名度は高い。この風景印で「仁比山」という地名も広がっていくはず」と話す。

風景印とは郵便局で用いられる消印の一種で、地域の名所や旧跡、記念物などにちなんだ図柄が描かれている。風景印を所持している郵便局の窓口で依頼すると62円切手以上の郵便物から押し出ることができる。

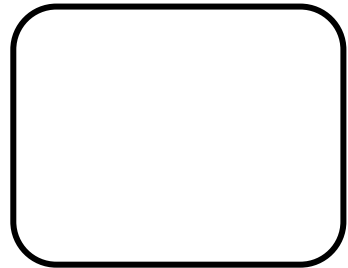
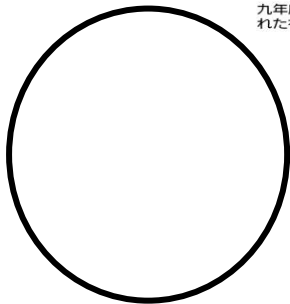
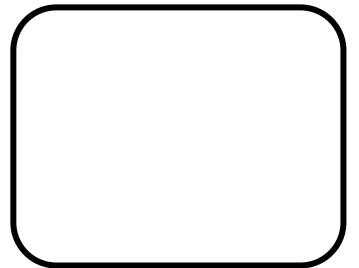
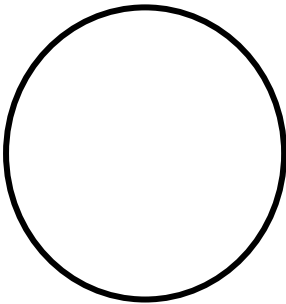
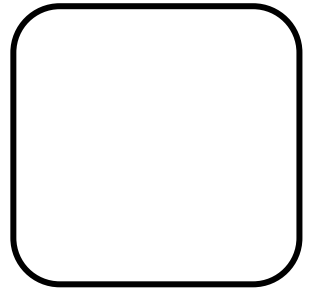
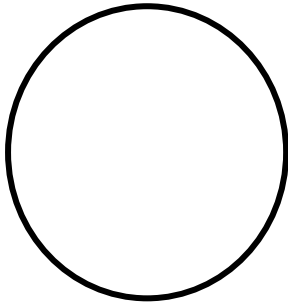
これまで仁比山郵便局では、吉野ヶ里歴史公園から市のマンホール柄を風景印に採用してこられたのは



九年庵や堀原川などが描かれた神埼市のマンホール

どうかと打診があり、「九年庵や堀原川などが描かれていてイメージがしやすい」（宮崎局長）と快く応じて誕生した。

現在までに、記念押印の申し込みが350通以上、全国各地や海外からも寄せられているといい、「仕事が増えてありがたい」と宮崎局長。「仁比山は風景印のように自然が豊かな場所。多くの人に来てもらってよさを感じてほしい」と笑顔をみせる。（小部亮介）



◎自分たちの住む地域の風景や代表的な施設などをデザインしてみよう。

風景・施設	選んだ理由・ねらい

